

らしている。このような対応について市民の理解は得られるのか。

【答市長】 決裁の数を仕事量の指標とする市民がいるとは考えていない。

◆質問 **北消防署の移転建て替え**

松谷 晴彦

【問】 南千里駅前的大阪府タウン管理財団所有の第13駐車場跡地と比べ、約3割広い本市所有の南千里庁舎敷地に北消防署を移転できないか。

【答消防】 同敷地では、待機児童解消に向けた保育施設の整備を最優先する方針が示されており、市北部の災害拠点施設となり得る新庁舎の整備先として、同跡地を適地と判断した。

待機児童解消アクションプラン

【問】 ハローワーク等と連携するだけで、保育士を確保できるのか。

【答児童】 本市の実態に見合った保育人材確保策を推進していきたい。

政府等へ意見書

次の意見書案3件を可決し、政府等に送付しました。

◆待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書

必要な予算の確保も含め、早急に待機児童の解消を図るため、次の事項に取り組みよう強く求める。(1)待

機児童解消のため、企業主導型保育事業を強力に推進するとともに、待機児童解消加速化プランを着実に実施すること。また、子ども・子育て支援新制度を利用者目線で総点検し、実態に応じた公定価格(保育所等の運営補助金)の実現を図ること(2)多様な保育ニーズと保育施設とのマッチングを行う保育コンシエルジュについて、利用者の視点に立った機能強化を推進すること(3)保育施設整備のための用地確保が困難な都市部では、定期借地制度や公有地等を活用すること(4)賃金引上げやキャリアアップ支援など、保育士の更なる処遇改善を検討すること。また、短時間正社員制度や育児休業取得の推進など、保育士が働きやすい環境整備にも取り組むこと。(全員賛成で可決)

◆次期介護保険制度改革における福祉用具貸与及び住宅改修の給付見直しに関する意見書

手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折の予防や自立した生活の継続を実現し、要介護度の重度化を防ぎ、遅らせることなどに役立つ。

軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修が原則として自己負担になれば、特に低所得世帯等の弱者を切り捨てることになりかねず、また利用が抑

制されることにより要介護度の重度化が進み、結果として、介護保険給付の適正化という目的に反し、給付費が増大するおそれがある。

次期介護保険制度改革における福祉用具貸与及び住宅改修の給付見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、要介護度の重度化を防ぐといった介護保険制度の理念に沿って、介護が必要な方の生活を支える観点から、現行制度の継続の検討を行うよう強く求める。(全員賛成で可決)



◆国民健康保険の保険料率や減免制度を大阪府内で統一せず、各市町村が実情に応じた独自制度を続けられるようにすることを求める意見書

国民健康保険の都道府県化の検討に当たり、次の事項を実施するよう求める。(1)大阪府が定める標準保険

料率を全市町村に一律に適用せず、各市町村が地域の実情に応じ保険料を設定することを認めること(2)減免制度については共通基準による統一をせず、各市町村が独自に設けることを認めること(3)保険料抑制を目的とした法定外繰入れの解消を市町村に押し付けないこと(4)市町村独自の減免制度など、加入者への負担軽減策に対し、ペナルティーを科さないこと(5)大阪府による国民健康保険会計への法定外補助を増やすなど、加入者への負担軽減策を検討すること。(賛成多数で可決)

なお、このほかに「福祉医療費助成制度の拡充を直ちに実施するとともに、患者負担を増やさないよう求める意見書案」が提案されましたが、賛成少数で否決しました。

委員会提出議案

会議規則の一部改正案2件が議会運営委員会から提出され、いずれも全員賛成で可決しました。

◆会議規則の一部改正

△平成28年5月19日提出分▽

役員代表者会議の構成員となるための要件を交渉団体(3人以上)の議員を有する会派から選出する議員

に変更するものです。

平成28年5月31日提出分

議案の審査または議会の運営に
関し協議または調整を行うための場
として議会運営委員会小協議会を設
けるとともに、所要の規定整備を行
うものです。

※議会運営委員会小協議会では、(1)
議員任期(2)委員会のインターネット
ト放映(3)予算常任(特別)委員会の
設置(4)決算審査方法の見直し(5)配
付資料のペーパーレス化の5項目に
ついて、調査、検討を行います。

議員提出議案

次の議案3件が議員から提
出され、いずれも全員賛成で
可決しました。

吹田操車場跡地等の
まちづくり検討特別委員
会の名称変更

(提出者 藤木議員ほか7人)
吹田操車場跡地等のまちづくり検
討特別委員会の名称を「北大阪健康
医療都市等のまちづくり検討特別委
員会」に変更するものです。

中核市移行に関する調査
特別委員会の設置

(提出者 藤木議員ほか7人)
中核市移行に関する調査研究を行

うため、中核市移行に関する調査特
別委員会を設置するものです。

総合計画検討特別委員会の
設置

(提出者 藤木議員ほか7人)
第4次総合計画の策定段階から議
会が積極的に関わり、あらゆる角度
から調査検討を加え、市民の視点に
立った総合計画とするため、総合計
画検討特別委員会を設置するもの
です。

なお、3月定例会で議員から提出
され、継続審査としていた「職員の
政治的行為制限条例案」、「労使関係
条例案」、「一般職職員の給与条例の
一部改正案」については、いずれも
賛成少数で否決しました。

一般会計補正予算案
(第3号) に対する
修正案

修正案2件が常任委員会から
提出され、いずれも賛成多数で
可決しました。

福祉環境常任委員会・
財政総務常任委員会修正案

議案第63号 訴訟上の和解につ
いて「が承認されなかったことに伴
い、関連予算を削除するものです。

常任委員会の審査から

各常任委員会に付託した主
な議案について、審査した内容の
一部(主な質疑項目、意見の概
要)をお伝えします。なお、継続
審査案件については、質疑のあった
定例会のみ、質疑項目を掲載してい
ます。

財政総務

一般会計補正予算(第2号)中
所管分
(全員賛成で承認)

主な質疑項目

- 地方公共団体セキュリティ強化対
策事業が対象となる国庫補助金
の有無
- 情報セキュリティ対策について
外部の専門家から意見を受ける
必要性
- 住民登録のない市外の個人等の登
録管理システムにおいて、個人番
号入力時の再点検機能を追加す
るための改修を必要とする理由
- 移転建て替えを検討している北消
防署の想定規模
- 救急車の現場到着時間を考慮した
消防署配置の必要性
- 救急隊増隊に伴い必要となる消防
庁舎スペースの確保策

職員の政治的行為制限条例

(賛成少数で不承認)

主な質疑項目

※平成28年5月定例会での審査分
○ 職員の政治的行為を地方公務員法
の範囲を超えて制限する理由

反対意見の概要

1 本条例に違反した場合に減給
等の処分規定があり、基本的人権を
制限する憲法違反の条例であるため、
反対する。

2 本条例は地方公務員法第36
条に規定する政治的行為の制限を上
書きする内容であり、制定の必要は
ない。

その他の意見の概要

市は、本条例、労使関係条例及び
一般職職員の給与条例の一部改正に
関する取り組みを進めており、今後、
市の対応、労使間の関係及び法令遵
守について検証が必要のため、これ
ら3条例の採決は退席する。

労使関係条例

(賛成少数で不承認)

主な質疑項目

※平成28年5月定例会での審査分
○ 労使交渉に関する事項を条例で規
定することの是非
○ 労使交渉におけるすべての発言を
記載した議事録の作成を求める
理由

△反対意見の概要▽

労使関係に政治が介入することになるため、反対する。

一般職職員の給与条例の一部改正
(賛成少数で不承認)

△主な質疑項目▽

※平成28年5月定例会での審査分
○労使間で締結した協定書に基づく職員団体費のチェックオフを不適切とする理由

△反対意見の概要▽

組合団体費の職員給料からの天引きは、大阪府内30市でも行われており、不適切であるとの認識はない。

※なお、一般会計補正予算(第3号)中所管分については、福祉環境常任委員会において訴訟上の和解についてが承認されなかったことを受けて審査の過程で委員から、関連する歳入補正予算を削除する修正案が提出され、賛成多数で承認しました。その結果、本委員会に付託された補正予算案はなくなりました。

文 教 市 民

一般会計補正予算(第2号)中所管分
(全員賛成で承認)

△主な質疑項目▽

○これまで市立吹田サッカースタジ

アムの外壁に施設名称を表示する銘板を設置しなかった理由

○英語表記も含む銘板設置の必要性
○スタジアム命名権の早期導入に向けた積極的な検討
○スタジアムに関連する市負担を認識したうえで、ガンバ大阪等の要望に対応する必要性



外壁に銘板が設置される市立吹田サッカースタジアム

福 祉 環 境

訴訟上の和解(賛成少数で不承認)

△主な質疑項目▽

○訴訟に至るまでに、市が解決策を提案する必要性
○市の顧問弁護士からの和解を促す助言の有無

○和解に対する市長の見解
○本委員会での市長発言が今後の裁判に与える影響

△賛成意見の概要▽

1 市は人材確保の手段などを省

き、不適切な実質的連続任用を誘引していたことは明白で、その姿勢には大きな疑問が残る。市民である原告二人の負担を考え、賛成する。

2 裁判を継続すれば、さらに多額の税金が投入されることになり、これ以上争い続けることは市民の利益にならない。裁判所は和解勧告をしており、弁護士も和解を判断しているため、賛成する。

△反対意見の概要▽

1 委員会において、市長が原告に有利な発言をしたことは、和解しなかった場合の裁判に極めて大きな影響がある。まさに市民に対する背任行為にほかならない。

2 非常勤職員として任用期間が定められているにもかかわらず、経験年数加算があることで期待権を主張させている。このような事案への対策を市が全く準備していなかったことは大変残念である。

△その他の意見の概要▽

市長は市の将来を考えなければならぬ立場に置かれている者としての判断をしてほしかった。賛成も反対もできないため、退席する。

一般会計補正予算(第2号)中所管分
(全員賛成で承認)

△主な質疑項目▽

○子どもの生活に関する実態調査を大阪府と共同で実施するメリット

○同調査における、回答者の負担を軽減する調査票作成の取り組み

○市立吹田市民病院整備事業に係る総事業費などに変更が生じた場合の市民への丁寧な説明の実施

△意見の概要▽

1 待機児童については、一過性のものであるのか、慢性化して今後もしっかりとした手当てが必要なものなのかを判断できるよう、現状把握や分析等に努められたい。

2 子どもの生活支援事業の市独自での実施などを提案したところ、前向きに検討するとの答弁があった。今後の施策に反映するためにも、早急に取り組まれない。

一般会計補正予算(第3号)中所管分
(原案を一部修正し承認)

△主な質疑項目▽

○高野台小学校の敷地内に市が設置するプレハブの保育施設を民間事業者が認可外保育施設として運営する際の保育の質の担保
○同施設の運営を2年間に限定する中で、民間事業者が公募に応じる可能性

○総合福祉会館で生活介護事業に従事していた非常勤職員の地位確認等請求事件に係る訴訟を継続した場合の市負担額

※質疑の後、委員から、訴訟上の和解についてが承認されなかったこと

に伴い、関連する歳出補正予算を削除する修正案が提出されました。

△原案に賛成の意見の概要▽

子どもを保育所に預けて働かなければ生活できない保護者は、受け入れ先がプレハブでも預けざるを得ず、預けることもある。その思いや権利を否定できないため、保育施設の整備計画は不十分であるが、賛成する。



一部の建物の除却後、認可外保育施設が新設される高野台小学校（現況）

※討論の後、まず修正案を賛成多数で承認し、続いて修正部分を除く原案を全員賛成で承認しました。

建設

一般会計補正予算(第2号)中 所管分 (全員賛成で承認)

◆南千里庁舎管理事業について

○南千里庁舎に隣接するガソリンスタンド用地を取得する必要性

○阪急南千里駅周辺地域全体のにぎわい創出を考慮した公共施設整備の検討

○公共施設最適化を推進するうえで、の土木部の配置場所に対する考え方

○公園等維持管理事業・街路樹等維持管理事業について

○樹木を伐採、せんでいする際の市民への周知方法

○市登録業者の業者登録上の所在地での業務実態を調査する必要性



南千里庁舎

◆交通バリアフリー道路特定事業について

○歩道幅を提案するに至った経過及び使用貸借期間終了後における歩道幅等用地の買収等の方向性

特別委員会の報告から

各特別委員会の平成27年(2015年)度の活動経過について委員長が本会議で報告を行いました。

内容の一部をお伝えします。

都市環境防災対策

本委員会は、市民の生活環境の保全と交通の利便向上を図るとともに、災害に強いまちづくりなどの対策に取り組んできました。

△市から報告を受けた活動項目▽

南吹田地域地下水汚染対策については、汚染拡散防止対策を早急に実施するための具体的な協力内容を含む、対象企業との合意書について、費用負担を含むすべての項目で事務レベルでの合意がされており、合意書締結後、速やかに汚染拡散防止対策の実施設計の作成に入ります。

◆大気汚染対策については、代表的な指標である、二酸化窒素を含む3物質において、すべての測定局で環境基準と市の環境目標を達成しており、近年は低下または横ばい傾向で、本年度の速報値でも、値に大きな変化はありません。

なお、本年4月11日の委員会において、今後の本委員会の在り方について委員間で協議した結果、一部の委員からは、まだ多くの活動項目について協議する必要があり、委員会の役割を終えたとは判断できないとの意見もありましたが、多くの委員からは、本委員会で協議した活動項目は、各常任委員会で所管事務調査ができるため、本委員会を廃止して



福祉避難所の開設訓練 (いのこの里)

化はありません。

△委員間で協議した活動項目▽

◆自転車交通安全対策について及び

地域防災計画については、昨年6月から約1年間、委員が調査した内容等を中心に議論を重ね、参考人からの意見聴取なども行いながら、「中学校における自転車安全利用教育の促進に関する提言」及び「福祉避難所等に関する提言」を取りまとめ、本年4月14日に市長と教育委員会委員長に提出しました。

(提言内容は16面に掲載)

もよいとの意見があり、これらの意見を本年5月2日開催の議会運営委員会に報告しました。
※本委員会は、平成28年5月12日の本会議で廃止しました。

**吹田操車場跡地等の
まちづくり検討**

本委員会は、旧国鉄吹田操車場跡地等における健康・医療のまちづくりや低炭素まちづくりの実現及び関連整備の検討に取り組んできました。

昨年6月22日の委員会では、国立循環器病研究センター、市民病院、西日本旅客鉄道株式会社の3事業者が建物間エネルギー融通を行うことによる経費面でのメリットについて質問がありました。

市からは、エネルギー融通により、3事業者の施設の合計で、電力使用量を年間約10%削減できると試算されており、それに必要な施設整備の費用は経済産業省の補助金を充てることで軽減できると考えているとの答弁がありました。

昨年11月16日の委員会では、2街区に整備する高齢者向けウェルネス住宅の入居者が富裕層に限定されない方策について質問がありました。

市からは、技術面や価格面等を総合的に考慮して事業者を決定するため、近隣の相場を踏まえた妥当な賃料になると考えている。賃料を変更

する場合は本市が関与できる方法を検討したいとの答弁がありました。
本年2月10日の委員会では、おおさか・すいたハウス移転支援への寄付募集について質問がありました。



移転予定のおおさか・すいたハウス

市からは、関西の経済関係者や医療関係者等を構成員とする、移転支援基金委員会を設立する予定であり、委員会への参画団体が開催するイベント等で寄付を呼びかけるとともに、市報すいた等でもPRしたいとの答弁がありました。

本年4月12日の委員会では、健康増進広場に整備する(仮称)健都ライブラリーを設計施工一括方式で発注する可能性について質問がありました。

市からは、現時点では、基本設計と実施設計を一体的に進める中で、求められる機能や周辺施設と有効に連携できる取り組みなど、同ライブラリーのコンセプトを明確に示したうえで取り組みたいとの答弁がありました。

議決結果

議案番号	案 件 名	議決結果
継続審査案件 (平成 28 年 3 月定例会提案分)		
市会議案第 1 号	吹田市職員の政治的行為の制限に関する条例の制定について	財 否決
市会議案第 2 号	吹田市労使関係に関する条例の制定について	財 否決
市会議案第 3 号	吹田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	財 否決
報 告		
報告第 1 号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第 2 号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第 3 号	公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について	報告
報告第 4 号	公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について	報告
報告第 5 号	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について	報告
報告第 6 号	一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について	報告
報告第 7 号	公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について	報告
条 例		
議案第 53 号	吹田市国際戦略総合特別区域における産業集積の促進及び産業の国際競争力の強化に係る事業計画の認定並びに市税の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第 54 号	吹田市私立幼稚園在籍園児の保護者に対する補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	福 原案可決
予 算		
議案第 59 号	平成 28 年度吹田市一般会計補正予算 (第 2 号)	財文福建 原案可決
議案第 60 号	平成 28 年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)	福 原案可決
議案第 61 号	平成 28 年度吹田市病院事業債管理特別会計補正予算 (第 1 号)	福 原案可決
議案第 64 号	平成 28 年度吹田市一般会計補正予算 (第 3 号)	財福 原案可決
	修正議決した部分を除く部分	原案可決
	福祉環境常任委員会修正案	可決
	財政総務常任委員会修正案	可決
その他の議案		
議案第 55 号	LED防犯灯照明器具購入契約の締結について	可決
議案第 56 号	(仮称) 吹田市宮新佐竹台住宅集約建替事業特定事業契約の一部変更について	可決
議案第 57 号	公用車の交通事故に係る損害賠償について	財 可決
議案第 58 号	地方独立行政法人市立吹田市民病院定款の一部変更について	原案可決
議案第 62 号	財産の交換について	福 可決